



## キッツグループ環境理念

キッツグループは、環境に配慮した商品・サービスの提供と事業活動の推進により、社会から信頼される企業を目指します。

## キッツグループ環境行動方針

環境を経営の重要な視点として意識し、一人ひとりの社員が次の施策に積極的に取り組みます。

1. 環境に配慮した商品・サービスの開発と提供

2. 資源の有効活用

3. 廃棄物の削減と再使用・再利用の推進

4. 環境汚染の防止・予防

## リスクの予防とコストの低減を図り、グループを挙げて環境経営を推進します

キッツグループは、長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」で掲げた「真のグローバル企業へと進化します」というスローガンの実現に向けて、「グループを挙げた環境経営の推進」を経営基盤強化の一つとして位置づけ、これをもとに「環境マネジメント体制の強化」「環境負荷の低減及び環境関連法規制対応」の2つの目標を設定しています。

### ● 環境マネジメント体制の強化

国内の全生産拠点で完了しているISO14001認証取得を海外拠点にも広げていきます。早期に海外の全生産拠点での取得を完了し、真のグローバル企業としての環境管理体制の構築を目指します。

### ● 環境関連法規制対応及び環境負荷の低減

日本国内はもとより、欧州、アジア、米国など世界的に規制が厳しくなる環境問題に対し、各種環境法規制への遵守にとどまらず、事業活動に影響を及ぼすあらゆるリスクを排除する活動に取り組んでいきます。

また、事業活動に投入されるエネルギーや水資源、事業活動によって排出されるCO<sub>2</sub>、廃棄物、化学物質の削減に取り組んでいきます。限りある資源を効率的に活用するとともに、徹底したムダの排除により総量と原単位の両面から環境負荷低減に取り組んでいきます。

この2つの目標は「『リスクの予防』と『コストの低減』の両立」をベースに達成したいと考えております。

### 長期経営計画におけるグループ環境目標

#### 1. 環境マネジメント体制の強化

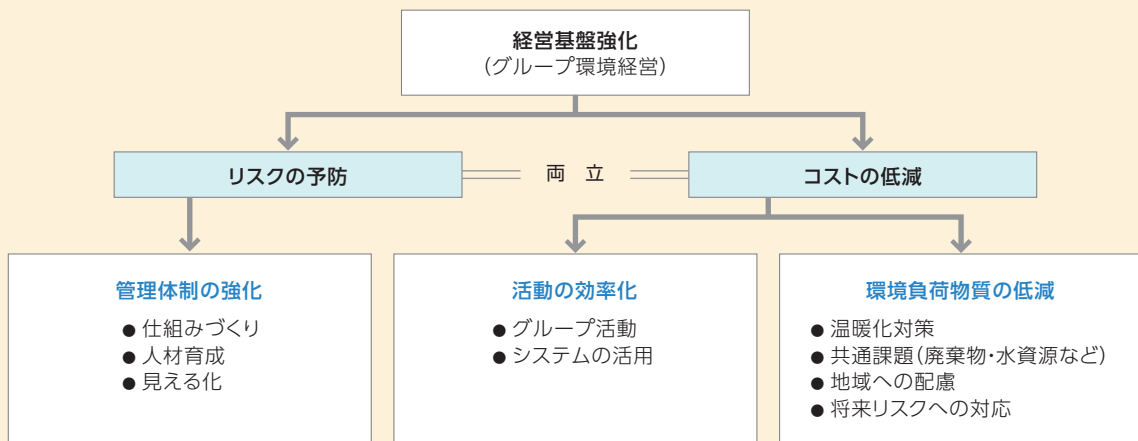
- 海外拠点のISO14001認証取得
- 環境関連数値の管理体制の構築

#### 2. 環境負荷の低減及び環境関連法規制対応

##### 目標設定項目

- CO<sub>2</sub>排出量  
CO<sub>2</sub>排出量原単位 (t-CO<sub>2</sub>/億円) を2020年度に2013年度比△10%削減  
(原単位: 2013年度 58.81 → 2020年度 52.71)

### 目標達成に向けた環境経営の考え方と取り組み



## 環境目標と実績

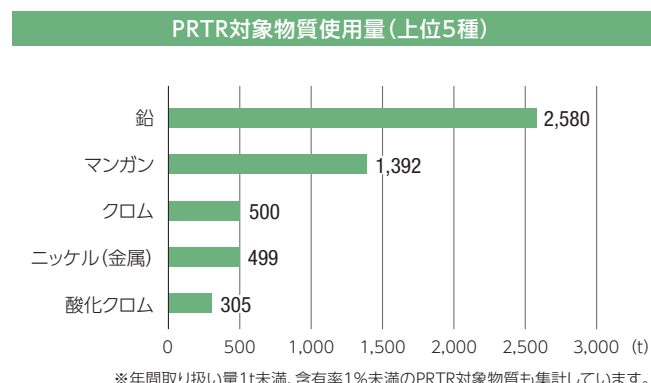
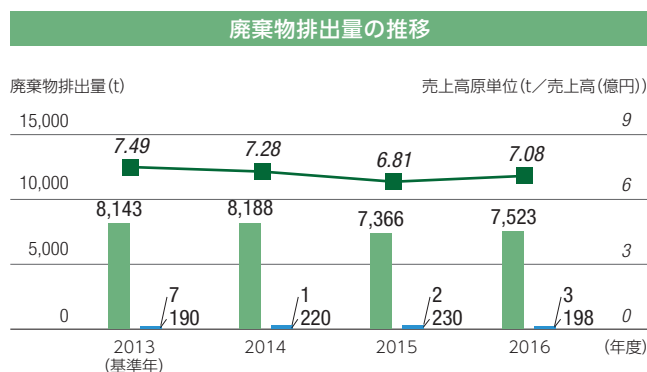
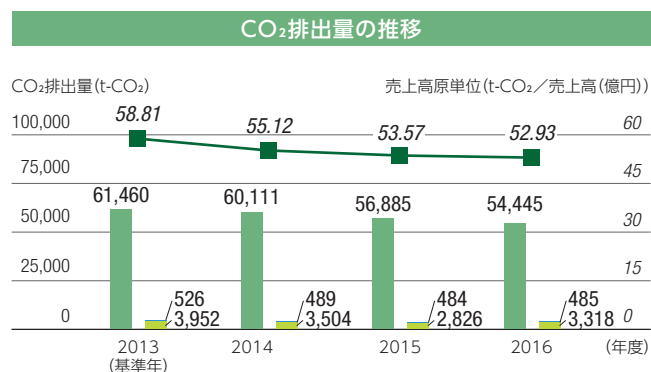
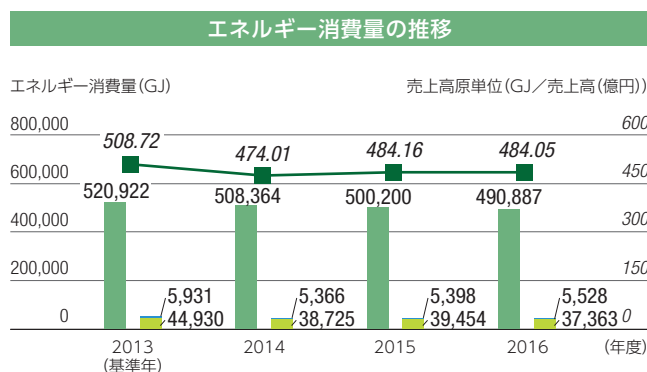
第3期中期経営計画(2016年度～2018年度)において「グループ環境経営の推進」を掲げ、環境活動を進めています。

重点テーマ	実施項目	2016年度到達目標	2016年度実績
環境経営の 確立	1.環境マネジメント体制の強化		
	①グループ環境管理体制の構築	①2015年版ISO14001への移行(国内7拠点) ②海外生産拠点の環境実績管理の推進 (I礼拝、廃棄物等)	①2016年10月に2015年版ISO14001の グループ更新審査受審完了
環境負荷の 低減	2.地球温暖化防止		
	①地球温暖化ガスCO <sub>2</sub> 排出量原単位 (t-CO <sub>2</sub> /億円)の低減	売上高原単位53.04t-CO <sub>2</sub> /億円	売上高原単位52.93t-CO <sub>2</sub> /億円(※)
	②エネルギー消費量原単位(GJ/億円)の低減	売上高原単位479.32GJ/億円	売上高原単位484.05GJ/億円(※)
	3.循環型社会の形成		
	③水資源量原単位(m <sup>3</sup> /億円)の削減	売上高原単位434.36m <sup>3</sup> /億円	売上高原単位422.92m <sup>3</sup> /億円(※)
	④廃棄物排出量原単位(t/億円)	売上高原単位6.61t/億円	売上高原単位7.08t/億円(※)
環境関連法 規制対応	⑤廃棄物最終処分量原単位(t/億円)	売上高原単位0.30t/億円	売上高原単位0.31t/億円(※)
	4.有害化学物質の削減		
	⑥PRTR第1種指定化学物質排出量 原単位(t/億円)の削減	売上高原単位0.24t/億円	売上高原単位0.27t/億円(※)
	5.環境リスクの見える化と対応		
	①法規制への対応	①法改正の情報収集体制の整備 及びその対応	改正フロン法の対応実施
	②PCB	②国内グループ会社PCB廃棄物処分	高濃度PCB:38台他、低濃度PCB:168台他処分完了 ⇒高濃度PCB全て処分が完了

(※)キッツ及び国内グループ会社(営業所は除く)

## 主な環境データ

■ キッツ及び製造グループ会社(営業所は除く) ■ サービスグループ会社 ■ キッツ及び製造グループ会社(営業所)  
■ 売上高原単位はキッツ及び国内グループ会社(営業所は除く)



環境負荷の全体像

INPUT	キッツグループ (キッツ+製造)	キッツグループ (営業所)	キッツグループ (サービス会社)	主な原材料	キッツグループ (キッツ+製造)
<b>主なエネルギー</b>					
● 電気				● 鉛 (t)	2,581
● 購入電力 (千kWh)	91,171	411	4,180	● ニッケル (t)	498
● 太陽光発電 (千kWh)	45			● マンガン (t)	1,393
● 都市ガス (千m <sup>3</sup> )	9		211	● クロム (t)	500
● LNG (t)	441			● 銅 (t)	42,487
● A重油 (kl)	509		66	● 亜鉛 (t)	17,356
● LPG (t)	1,690	21	165		
● 灯油 (kl)	613	22	29	<b>主な副資材</b>	
● 冷・温水 (GJ)	3,382			● 中子砂	
				● 鋳物砂 など (t)	5,184
<b>水</b>				● 塗料、シンナー (t)	164
● 上水 (千m <sup>3</sup> )	137	1	100	● 油剤 (t)	184
● 地下揚水 (千m <sup>3</sup> )	225				



OUTPUT	キッツグループ (キッツ+製造)	キッツグループ (営業所)	キッツグループ (サービス会社)	廃棄物等排出量	キッツグループ (キッツ+製造)	キッツグループ (営業所)	キッツグループ (サービス会社)
<b>大気への排出</b>				● 産業廃棄物 (t)	7,345		68
● CO <sub>2</sub> (t)	54,445	485	3,318	● 一般廃棄物 (t)	178	3	131
● ばいじん (t)	4.4		0.0	● 有価物 (t)	5,937		44
● NOx (t)	8.1		1.9	● 最終処分量 (t)	303		30
● SOx (t)	10.9			<b>化学物質排出量 (PRTR対象物質)</b>			
				● 大気 (t)	63		
				● 廃棄物 (t)	229		
				● 公共水域 (t)	0.1		

環境会計

■ 環境保全コスト

(単位:千円)

分類	主な取り組みの内容	設備投資額	費用額	
事業エリア内コスト		102,468	502,156	
内訳	公害防止コスト	公害防止施設・設備の導入・維持管理	36,022	149,676
	地球環境保全コスト	省エネ型設備・機器の導入	66,446	168,593
	資源循環コスト	廃棄物減量化・リサイクル、外部委託処理費	0	183,887
グリーン購入製品リサイクルコスト	使用済み商品の回収・リサイクル費用	0	5,189	
管理活動コスト	ISO・環境測定・環境情報の開示	0	64,735	
研究開発コスト	鉛フリーなど環境配慮商品の開発	0	52,761	
社会活動コスト	緑化活動の推進	0	530	
環境損傷コスト	地下水の浄化対策	0	1,200	
その他のコスト		0	0	
合計		102,468	626,571	

項目	内容等	金額
当該期間の設備投資額の総額	環境保全に係る投資額の割合:2.2%	4,617,880
当該期間の研究開発費の総額	環境保全に係る開発費の割合:2.6%	2,019,817

集計範囲はキッツ(本社、長坂工場、伊那工場、茅野工場)、キッツメタルワークス、キッツマイクロフィルター、キッツエスシーティー、清水合金製作所、キッツエンジニアリングサービス、ホテル紅や

■ 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標 (単位)	前期 (2015年度)	当期 (2016年度)	前期との差 (環境保全効果)
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量(GJ)	539,654	528,250	-11,404
	PRTR対象物質の投入量(t)	4,995	5,261	266
	上水投入量(m <sup>3</sup> )	236,619	236,182	-437
	地下揚水投入量(m <sup>3</sup> )	252,411	225,362	-27,049
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> )	59,711	57,762	-1,948
	特定の化学物質排出量・移動量(t)	265	292	26
	一般廃棄物及び産業廃棄物総排出量(t)	7,595	7,721	126

■ 環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容(実質的効果)		金額
収益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクルまたは使用済み商品等のリサイクルによる事業収入	301,313
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	-8,480
	リサイクルに伴う費用節減	173,351
	廃棄物減量に伴う費用節減	-5,138
合計		461,046



## キットグループ安全衛生基本理念

キットは人間尊重を基本とし、安全衛生が全ての活動に最優先することを認識し、積極的に安全衛生活動に取り組み、災害ゼロを目指します。

## キットグループ安全衛生基本方針

1. 労働安全衛生法令及び関係法令を順守するとともに、社内規程・基準に基づき全ての従業員の安全衛生を確保する。
2. 安全衛生活動に必要な知識・技能を、全ての従業員に教育・訓練して安全衛生管理レベルの向上を図る。
3. 従業員が安心して働けるよう、設備の本質安全化を図る。
4. 職場における危険性・有害性を取り除き、リスクの低減を図る。
5. いきいきとした快適な職場づくりに努め、心とからだの健康づくりを推進する。

### 先取り(予防)と安全意識の向上を図り、グループを挙げて安全衛生活動を推進します

「組織的な活動」と「ライン化の徹底(小集団活動によるボトムアップ)」との両方向から展開を図り、一人ひとりのマインドを変え、安全意識を向上させ、職場風土を変革していきます。

従業員の安全と健康の施策として、「安全の先取り(予防)」と「安全意識の向上」を図るため、以下の重点取組事項を設定しています。

- 管理体制の整備(安全衛生関係法令の順守)
- 機械・設備、人への安全対策(類似災害防止)
- 職場風土づくり(ゼロ災運動の推進)

